

資料5 2025年度(R7年度)の主な取組み

大阪・関西万博の開催を向かえ、万博のインパクトを活かした都市魅力の創造・発信や、安全・安心に滞在できる受入環境整備など、大阪都市魅力創造戦略2025に基づく重点取組みをはじめとした各種施策を推進。

■ 世界第一級の文化・観光拠点の進化・発信

- 2025年日本国際博覧会の推進
- IRの推進
- 大阪市内の重点エリアの魅力向上
- 世界遺産百舌鳥・古市古墳群の保存活用
- 水都大阪
- 万博記念公園駅前周辺地区活性化事業
- ヨット及びクラシックカーを活用した機運醸成事業
- 大阪のにぎわい創出事業【新規】

■ 大阪の強みを生かした魅力創出・発信

- 大阪の食の魅力の発信
- 万博ホストシティとしての食のおもてなし事業
- ガストロノミー・ツーリズム促進事業
- 国際的な食のイベント開催【新規】
- eスポーツ推進事業【新規】
- 空飛ぶクルマ観光魅力促進事業【新規】
- 山のおもてなし事業【新規】
- 歴史・文化資源を活かした地域魅力の発信【新規】
- 大阪・光の饗宴
- 国内外の人々を惹きつけるキラーコンテンツの創出
- 大阪観光局の取組み

■ さらなる観光誘客に向けた取組み

- 大阪府域等への観光誘客・周遊促進
- 大阪デスティネーションキャンペーン
- 万博プラス関西観光推進事業
- ラグジュアリー・ツーリズム推進事業【新規】
- データ・マーケティング推進事業【新規】
- デジタルプロモーション推進事業【新規】
- 外国人旅行者の安全確保
- 宿泊施設における受入環境整備
- 公共交通機関利用観光客受入環境整備事業費補助金【新規】
- 外国人相談対応力強化事業【新規】
- オーバーツーリズム未然防止・抑制対策事業【新規】
- 外国人観光客のための医療整備事業【新規】

■ 戦略的なMICE誘致の推進

- MICE推進に向けた取組み

■ 文化・芸術を通じた都市ブランドの形成

- 大阪国際文化芸術プロジェクト
- 大阪文化資源魅力向上事業
- 現代美術振興事業【拡充】
- 芸術文化による大阪の魅力向上

■ スポーツツーリズムの推進

- スポーツチームと連携した万博機運醸成事業
- 大阪マラソン
- スポーツツーリズム推進事業【新規】
- マラニックイベントによるスポーツツーリズム推進事業【新規】
- 国際スポーツイベントの開催【新規】

■ 大阪の成長・発展につながる

国内外の高度人材の活躍推進

- 高校生等海外進学支援事業（おおさかグローバル塾）
- 実践的英語体験活動推進事業（グローバル体験プログラム）
- 外国人留学生就職等支援
- 万博国際交流事業
- 英語イノベーション事業
- 高校生等海外体験支援事業【新規】

※詳細は、「（別添）取組み概要」資料を参照

■ 世界第一級の文化・観光拠点の進化・発信

2025年日本国際博覧会の推進府市

R7年度当初予算案 19,577,155千円

事業概要

2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）の成功に向け、地元自治体として担うべき取組みを推進する。

- 大阪ヘルスケアパビリオンの館内運営、イベント広場であるリボーンステージでの行催事の実施、展示体験に必要な情報発信を実施する。また、閉幕後、リユース・リサイクルを踏まえた建物の解体撤去工事を実施し、これまでの取組等をまとめた記録誌の作成を行う。
- 博覧会協会や経済界等とも連携し、機運醸成委員会で策定した「機運醸成行動計画」に基づき、PR重点期間等を中心に、府民・市民一人ひとりに向けたPR活動や万博への理解促進、来場意向度の向上につながる取組の推進などによって機運醸成を図る。国や博覧会協会、その他関係機関とも連携し、各主体が有するツールやネットワーク等を活用して来場促進・プロモーション活動を展開する。
- 大阪府内の主要駅、空港での万博情報、交通情報、観光情報等の案内や大阪ヘルスケアパビリオンでの案内や観覧サポート等を行うボランティア活動を運営する。
- 大阪府・大阪市を中心に府内の市町村と一体となり、春・夏・秋の3期にわたって大阪の魅力や特色を国内外に発信するため、万博会場内で「大阪ウィーク～春・夏・秋～」を開催する。
- 万博期間中の円滑な万博来場者輸送と都市活動の両立に向け、企業や住民等に対しTDM（交通需要マネジメント）の取組みへの協力の働きかけを実施する。
- 国や関係機関と連携し、閉幕後、会場施設等撤去にかかる調整を行う。

IRの推進府市

R7年度当初予算案 121,973千円

事業概要

夢洲において、大阪・関西の持続的な経済成長のエンジンとなる世界最高水準の成長型IRの実現をめざし、開業に向けた取組みを進めていく。

- ・ 2025年 春頃 IR建設工事の発注及び着手
- ・ 2030年 秋頃 IR施設の開業

大阪市内の重点エリアの魅力向上府市

事業概要

都市の魅力向上に向けて、大阪市内の重点エリアの魅力向上、発信の各種取組を推進する。

[①大阪城・大手前・森之宮地区]

豊臣石垣公開事業 [R7年度当初予算案 11,372千円]

初代大坂城の石垣を掘り起こし、公開施設の整備、「特別史跡大坂城跡保存管理計画」の推進、文化財の整備・活用を行う。

- 2025年4月～2026年3月 豊臣期石垣公開施設の管理運営（継続的な石垣のモニタリング及び定期的な点検等）を実施、整備報告書作成

大阪城エリア観光拠点化事業 [R7年度当初予算案 105千円]

2015年度に導入した大阪城公園PMO事業を推進し、民間活力を活用した公園の新たな魅力を創出する。

- 令和17年（2035年）3月までPMO事業を継続予定。

[②御堂筋地区]

御堂筋活性化事業 [R7年度当初予算案 492,000千円]

御堂筋の賑わい創出、憩いや交流など都市魅力の向上や活性化につながる取組を行う。

- 御堂筋の都市魅力向上や活性化の推進

御堂筋の空間再編 [R7年度当初予算案 10,000千円]

「車中心から人中心の道路空間」へと、道路空間再編（側道歩行者空間化）を行う。

世界遺産百舌鳥・古市古墳群の保存活用府

R7年度当初予算案 12,822千円

事業概要

世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」について、「世界遺産条約」に基づく義務を果たすため、資産の保存・活用や資産の価値と魅力を発信する取組みを、大阪府、堺市、羽曳野市、藤井寺市が一体となり進める。

- 魅力発信の取組み（価値理解促進事業）、受入環境充実の取組み（来訪者受入環境整備事業）を実施
 - ・ 2025年 5月頃 古墳群周遊コンテンツ（アプリ等）制作開始
 - ・ 2025年 10月頃 価値理解促進イベント開催
 - ・ 2025年 11月頃 ウォーキングイベント開催（周遊コンテンツの周知）

■世界第一級の文化・観光拠点の進化・発信

水都大阪

府市

事業概要

① 水都大阪コンソーシアム事業 [R7年度当初予算案 67,450千円]

「水と光の首都大阪」の実現に向けて、府・市・経済界等による公民共通のプラットフォームである「水都大阪コンソーシアム」において、水辺魅力創出や舟運活性化、ブランディング、観光、安全安心の取り組みを推進する。

・2025年度

万博を契機に新たな船着場の活用等による乗船機会の創出
水都大阪のファンづくりとブランディングのさらなる強化
万博後に向けた持続可能な水都の検討

②水辺の魅力空間づくり [R7年度当初予算案 868,010千円]

舟運をはじめ水辺も楽しめる観光メニューが集結するターミナルの整備、水辺魅力の向上や、舟運活性化に資する空間・景観整備を行う。

○ 新たな舟運ルートの発掘・創出

兵庫・大阪間の新たな舟運ルートの発掘、創出により万博会場と観光地等を結ぶ水上交通ネットワークを構築し、来訪者の周遊・滞在を促進する。

・2025年度

大阪と兵庫をはじめとする周辺をつなぐクルーズの旅行商品の定着と新たな航路創出

○ 東横堀川の水辺空間利用の促進（本町橋～農人橋間（右岸側））

・2025年度（万博開幕に合わせ）

供用

○ 水と光を活かした景観創出

万博会場と大阪市内を結ぶ舟運ルート沿いに、水と光を活かした景観の創出等により、多数の万博来場者を船に呼び込み水都大阪の魅力を強力に発信する。

・2025年度（万博開幕～2月頃）

本格実施、効果測定

○ 護岸ライトアップ施設リニューアル調査検討事業

中之島の夜間景観の質の向上等を図るため、堂島川等の護岸ライトアップ施設の大規模リニューアルに向け、全体のコンセプトや整備手法等の調査検討を行う。

・2025年4月

事業者募集、6月～2026年3月 調査検討

○ 舟運による周遊性向上促進事業

道頓堀や中之島等の観光スポットを観光客が気軽に船で周遊できるよう、水の回廊を周回する航路の創出を目的とした社会実験や調査検討を行う。

・2025年4月

事業者募集、7月～社会実験・調査検討業務

万博記念公園駅前周辺地区活性化事業

府

R7年度当初予算案 1,057,196千円

事業概要

大規模アリーナを中核とした大阪・関西を代表する新たなスポーツ・文化の拠点づくりを推進するため、世界最先端の機能を有するアリーナと、アリーナを中核とした周辺施設が相乗効果を発揮し、大阪・関西、ひいては西日本の成長、発展の起爆剤となるよう取組む。

・2025年度

事業計画の承認、定借・用地売買契約の締結に向けた事業予定者及び関係機関等との協議

・2030年3月

第Ⅰ期（アリーナ等）開業

・2038年5月

全施設開業

ヨット及びクラシックカーを活用した機運醸成事業

府

R7年度当初予算案 58,970千円

事業概要

大阪・関西万博開催時に国内外から来阪する多くの方々や府民に向けて、大阪の魅力発信や万博の機運醸成を図るとともに、万博会場への来場を促進することを目的に、ヨット及びクラシックカーを活用したイベントを実施する。

①ヨットイベント開催運営費

周りを海で囲まれた夢洲で開催される大阪・関西万博の特徴を活かし、会場周辺でヨットの大々的なパレードを開催するとともに、大型帆船の体験乗船などのイベントを実施する。

②クラシックカーイベント開催運営費

クラシックカーで府内の観光スポットを巡り、府内各地の魅力のPRを行う。また、府内3カ所に会場を設け、クラシックカーの展示をはじめ、話題性のあるイベントを開催する。

・2025年3月

広報・パブリシティ開始

・2025年4月

イベント開催（クラシックカー）

・2025年5月

イベント開催（ヨット）

大阪のにぎわい創出事業

府市

R7年度当初予算案 700,000千円

新規

事業概要

国内外から多くの人々が大阪に集まる万博というナショナル・イベントを最大限生かし、主に万博開催期間中に、都市格の向上や継続的な誘客につなげるためのスペシャルプログラムを実施。

・2025年

通年で実施

3

■大阪の強みを生かした魅力創出・発信

大阪の食の魅力の発信

府市

事業概要

大阪の強みである「食」のコンテンツの磨き上げや発信などを行い、大阪の賑わいを創出する。

①食のブランディングに向けた取り組み

〔R7年度当初予算案 大阪観光局運営事業（524,224千円）の一部〕

食に関する事業を通じて大阪の「食」ブランディングに向けた取組みを推進。大阪商工会議と共に「食創造都市 大阪推進機構」の活動を通じ世界における「食のまち・大阪」を発信する。

②大阪産（もん）グローバルブランド化促進事業〔R7年度当初予算案 144,160千円〕

大阪産(もん)・大阪産(もん)名品等のPRや販路拡大、付加価値の高い商品等開発を促進するとともに、伝統や特徴のある一次産品・加工食品など「大阪の食」の魅力を発信し、大阪産(もん)・大阪産(もん)名品等のブランド力向上と購入機会の拡大を図る。

③食を活用した観光魅力開発事業

民間事業者等との連携により、大阪ならではの「食」の魅力を発信し、観光客の誘致及び観光消費の拡大を図る。

○ 大阪地場素材をふんだんに味わえる「あじわい大阪」特別メニューの提供、
エンタメ要素が組み込まれた食と体験のコラボ商品の提供 など

万博ホストシティとしての食のおもてなし事業

市

事業概要

大阪・関西万博への来場者をはじめ、万博期間中に大阪を訪れるより多くの観光客に、大阪が誇る食の魅力を体験して頂くことで、都市魅力の発信、さらには今後の大阪へのリピーター獲得につなげる。

・ 2025年4月～10月 食のおもてなしの実施

ガストロノミーツーリズム促進事業

府

R7年度当初予算案 15,000千円

事業概要

海外富裕層の府内周遊や長期滞在を促進するために、「大阪の食」のポテンシャルを活かした「大阪ならではのガストロノミーツーリズム」を海外富裕層に向けてプロモーションを実施し、その成果を地域に還元することで、地域での持続的なビジネス展開を推進する。

・2025年3月 事業者決定

・2025年4月 事業開始

国際的な食のイベント開催

府

R7年度当初予算案 100,000千円

新規

事業概要

万博開催の機を捉え、大阪の食を万博後も多くの人を惹きつける強力なコンテンツとすることをめざし、大阪の食の魅力を国内外に広く発信するために、食をテーマとする国際的なシンポジウムの開催や、多くの来阪者等に府内の多様な飲食店等への訪問を促すキャンペーンを企画・実施する。

・2025年3月 事業者決定

・2025年4月 事業開始

eスポーツ推進事業

府

R7年度当初予算案 40,000千円

新規

事業概要

「eスポーツと言えば大阪」と言われるような地域ブランド確立をめざし、eスポーツの魅力を広く発信するために、万博会場で国が主催するeスポーツイベントと連携する、大阪eスポーツラウンドテーブル参画メンバーによる様々な企画をキャンペーン化し、定期的にプロモーションを展開するとともに、その総括イベントを実施する。

・2025年3月 事業者決定

・2025年4月 事業開始

空飛ぶクルマ観光魅力促進事業

府

R7年度当初予算案 380,177千円

新規

事業概要

空飛ぶクルマを活用した大阪での観光ビジネスの展開に向けて、観光分野におけるビジネスモデルの構築に取り組むとともに、観光商品の開発に向けた事業者の取組み等を支援する。

・ 2025年4月 公募開始

・ 2025年6月 事業開始

■大阪の強みを生かした魅力創出・発信

山のおもてなし事業

府

R7年度当初予算案 48,000千円

新規

事業概要

自然公園施設（府民の森、長距離自然歩道等）の魅力や利便性の向上、安全性の確保に資する整備等を計画的に進めていくため、「山のおもてなし」をコンセプトとしたの基本構想の策定等を行う。

- 山のおもてなし基本構想策定業務
- おおさか環状自然歩道多言語マップ作成業務

歴史・文化資源を活かした地域魅力の発信

府

新規

事業概要

①誘客促進事業 [R7年度当初予算案 62,597千円]

府立博物館等や府内文化財の魅力向上を図り、誘客を促進できるよう、その方向性の検討に必要なデータ収集を目的としたマーケティング調査を実施するとともに、モニターツアーや周遊促進イベントを実施する。

- ・ 2025年5月 事業者募集
- ・ 2025年7月 事業者決定、マーケティング調査等開始
- ・ 2025年9～2月 モニターツアー・イベント実施

②多言語解説整備事業 [R7年度当初予算案 77,350千円]

府立弥生文化博物館、府立近つ飛鳥博物館・府立近つ飛鳥風土記の丘に、国内外からの来訪者を呼び込むため、展示等の多言語解説を整備し、来館者の利便性の向上を図る。

国内外の人々を惹きつけるキラーコンテンツの創出

府市

R7年度当初予算案 196,068千円

事業概要

大阪のシンボリックなエリア（御堂筋、中之島、水の回廊など）において話題性のあるキラーコンテンツを実施し、大阪の魅力を全世界に強力に発信することで、万博開幕後もその熱気や話題性を継承し、多くの方々を大阪に誘客する起爆剤となるプロモーションイベントを開催する。

2025年大阪・関西万博の機運醸成に向けたプロモーション事業とも連携。

- ・ 2025年秋頃 イベント開催予定

大阪・光の饗宴

府市

R7年度当初予算案 735,622千円

事業概要

「御堂筋イルミネーション」、「OSAKA光のルネサンス」、地域団体等が実施するエリアプログラムを一体的に展開し、都市魅力の創造・発信や都市ブランドの向上を図る。

大阪の冬を代表する観光コンテンツの充実を図り、国内外からの観光客の満足度を高め、さらなる呼び込みを図る。

樹木などのイルミネーションに光度や色彩の変化が可能なLEDでの装飾を加えるなど、より圧倒的で魅力的な光空間を創出することで、大阪の都市魅力の向上と万博の機運醸成を図る。また、来阪者をおもてなしするため、プログラムの一部を万博の開幕に合わせて4月から、点灯時間も延長して実施。

- ・ 2025年4月 「大阪・光の饗宴2025」点灯式開催及び万博特別点灯開始
- ・ 2025年7月 「OSAKA光のルネサンス」事業者決定
- ・ 2025年11月～「大阪・光の饗宴2025」本開催

大阪観光局の取組み

府市

R7年度当初予算案 524,224千円

事業概要

大阪観光局において、新たな観光関連産業の振興や地域の活性化、効果的なプロモーションや地域と連携したMICE誘致などの事業に取り組み、来阪宿泊数等を増加させることで、新たな観光関連産業の振興や地域の活性化につなげ、経済効果の向上を図る。

- 国内外へのプロモーション、国内外教育旅行誘致
- 広域周遊の促進（エリアごとにテーマを設定した新たなコンテンツの造成など）
- 観光DX・マーケティングリサーチ（観光に関するデータベースの構築、データを活用した府内市町村の観光戦略策定支援、観光アプリ（XR機能）を活用した取組みなど）
- 観光魅力の創造（食、歴史、スポーツ、ウェルネス等、大阪らしい観光素材の開発、ペットツーリズム、ガストロノミーツーリズム等の推進、Osaka Free Wi-Fiの整備など）
- MICE誘致の推進（万博に関連したMICE誘致、国内外へのプロモーションなど）
- 観光情報の発信（観光案内所の運営、HPやSNSによる国内外への情報発信など）

■さらなる観光誘客に向けた取組み

大阪府域等への観光誘客・周遊促進

府市

一部新規

事業概要

大阪・関西万博開催に向け、大阪の観光資源を活用したイベント開催等により、大阪への集客・周遊を促進し、万博の機運醸成や成功につなげるとともに、兵庫県と連携した広域観光プロモーションにより大阪・兵庫への周遊を促進する。

①大阪の観光資源の強みを活かした集客・周遊事業[R7年度当初予算案700,000千円]

大阪市内や北摂・河内・泉州エリアの観光スポットを舞台としたイベント等の開催により、国内外からの観光客の誘客・府内周遊を促進することを目的とする「大阪来てな！キャンペーン」と、万博来場者に対して、大阪の魅力を直接届け、大阪のプレゼンス向上や府内各地への訪問意欲の喚起につなげることを目的とする「大阪ウィーク」でのイベント開催を一体的に取り組むことにより、大阪を訪れる方々の府内滞在・府内周遊の促進につなげる。

- ・2025年4月～ 万博開催期間を中心に集客イベントや周遊の仕掛けを展開
- ・2025年7月・9月 万博会場内催事「大阪ウィーク」にて、集客イベント等を実施

②観光コンテンツ等のプロモーション [R7年度当初予算案 5,546千円]

2024年度の広域観光コンテンツプロモーション事業にて作成したチラシや動画を活用して、インバウンドが多く利用する公共交通機関駅での動画発信や、万博会場でのチラシ配布など、万博に訪れる観光客に直接観光コンテンツ等の魅力を伝えることで、アフター万博のリーダー獲得を図る。また、2023年度に制作した公式ホームページを活用した魅力発信も行う。

- ・2025年 万博開催期間中に、動画発信などプロモーションを実施

③大阪府内周遊ツアーの調査・検討 [R7年度当初予算案 15,210千円]

来阪者の府内周遊を一層促進するため、民間主導で観光周遊ツアーが展開・継続されるよう、スキーム等の検討を行うとともに、令和8年度以降には検討結果をもとに民間事業者への伴走支援を行い、その定着をめざす。

- ・2025年 モデル事業の実施
効果検証、支援手法等検討
- ・2026年～ 民間事業者による観光周遊ツアーの展開

大阪デスティネーションキャンペーン

府市

R7年度当初予算案 30,172千円

事業概要

大阪・関西万博開催を契機とし、大阪府、大阪市、堺市、観光関連団体、経済団体などで構成する大阪デスティネーションキャンペーン推進協議会が、J R 6社（北海道・東日本・東海・西日本・四国・九州）と連携した全国規模の観光キャンペーンを展開し、大阪・関西万博の機運醸成、府域への誘客・周遊促進を図ることにより、観光消費の拡大を図る。

〔R7年度当初予算案（総事業費）35,000千円（堺市負担含む）〕

- ・2025年 本キャンペーンの実施
- ・2026年 アフターキャンペーンの実施

万博プラス関西観光推進事業

府市

R7年度当初予算案 10,000千円

事業概要

関西の自治体（2府8県4政令市）及び民間企業等が一体となって、万博のテーマ等を踏まえた新しい旅行商品やコンテンツの造成を進め、関西各地の特色や生活文化等の魅力を“KANSAI”として発信し、万博及び関西への誘客を進める。

- ・2025年度
旅行商品の造成、観光情報の提供、プロモーションの実施、サービスインフラ「関西広域観光情報ゲートウェイ」での情報提供等

ラグジュアリー・ツーリズム推進事業

府

R7年度当初予算案 30,000千円

新規

事業概要

ラグジュアリー・ツーリズムを扱う海外の旅行会社などが加盟するコンソーシアムが主催する旅行商談イベントを大阪に誘致する。

- ・2025年度 プレイベントキャンペーン開催予定
- ・2026年度 Connections Luxury Asia Pacific 2026 開催予定
- ・2027年度 Connections Luxury Asia Pacific 2027 開催予定
- ・2028年度 Connections Luxury Asia Pacific 2028 開催予定

■さらなる観光誘客に向けた取組み

データマーケティング推進事業府R7年度当初予算案 125,000千円新規

事業概要
市町村が、国内旅行者の観光消費額データや滞在データ等に基づく適切な観光地経営を実施できるよう、大阪観光局と連携し、府域一体のデータマーケティング基盤を整備することで、府内各市町村への誘客促進につなげる。

デジタルプロモーション推進事業府R7年度当初予算案 225,000千円新規

事業概要
大阪観光局のWEBサイトにおいて、市町村が有する観光コンテンツを国内外へ情報発信するとともに、AIを活用し、旅行者の行動や嗜好に沿った情報を提供することで、より効果的な誘客促進を図る。

外国人旅行者の安全確保府R7年度当初予算案 1,791千円

事業概要
災害時等に外国人旅行者自らが身を守るために必要な情報を入手できる環境をつくるとともに、ホテル等との災害時の連携協定締結を進めることにより、災害時に外国人旅行者等が一時避難できる環境を確保する。
・2025年度 旅行者向けのリーフレットの配布拡大、支援フロー及びガイドラインの周知、大阪市をはじめとした府内宿泊施設との協定締結の促進

宿泊施設における受入環境整備府R7年度当初予算案 54,000千円

事業概要
宿泊施設（特区及び新法民泊施設を含む）における来阪旅行者のための環境整備に係る事業に対し補助を行うことにより、受入対応の強化を図り、旅行者の宿泊需要への対応やリピーター確保につなげていく。
・2025年4月 公募開始予定

公共交通機関利用観光客受入環境整備事業費補助金府R7年度当初予算案 125,000千円新規

事業概要
公共交通機関による府内の観光周遊を促し、公共交通の維持・大阪の成長に寄与するため、キャッシュレス決済対応機器の整備等、公共交通機関における旅行者の受入環境整備に係る費用を補助する。

外国人相談対応力強化事業府R7年度当初予算案 1,7908千円新規

事業概要
外国人観光客からの相談対応に必要な知識・能力を習得する研修や相談内容のデータベース構築により、公共交通機関の窓口や宿泊施設など、外国人観光客と接触する機会が多い機関での相談対応力向上に取り組む。
・2025年4月～9月 事業検討委員会
・2025年10月～3月 研修の実施、データベースの運用開始

オーバーツーリズム未然防止・抑制対策事業府新規

事業概要
①スーツケース等輸送サービス利用促進事業〔R7年度当初予算案 27,288千円〕
オーバーツーリズムによって生じるスーツケース等大型荷物の持込みによる公共交通機関の混雑を防止するために、手ぶら観光推進事業を行う。
②観光デジタルマップ事業〔R7年度当初予算案 32,010千円〕
オーバーツーリズムによって生じる観光地のトイレ問題を防止するために、府内のトイレ等の位置や情報が簡潔に分かる観光デジタルマップの構築・運用を行う。

外国人観光客のための医療整備事業府新規

事業概要
①外国人患者受入れ研修事業〔R7年度当初予算案 9,987千円〕
「外国人患者受入れ医療コーディネーター」等の意見を取り入れた外国人患者受入れ研修を実施し、外国人患者受入れ医療機関の対応力向上を図る。
②外国人患者受入れ医療機関における患者受入れ環境整備事業〔R7年度当初予算案 25,000千円〕
外国人患者受入れの障壁となる医療費未収金リスク低減につながる費用を補助することで、新規の「外国人患者受入れ医療機関」の増加及び既存の「外国人患者受入れ医療機関」による外国人患者へのサービス向上を図る。

■ 戦略的なMICE誘致の推進

MICE推進に向けた取組み

府市

一部新規

事業概要 「大阪MICE誘致戦略」に基づき、官民が一体となって戦略的にMICE誘致を展開することで、大阪に集積する産業分野を生かしたビジネスやイノベーションの機会を創出し、観光消費の拡大を図る。 万博開催に向け大阪・関西への注目が高まり、活発な国際交流が期待される中、国際会議をはじめとするMICEを積極的に誘致・創出するため、国際会議の誘致・開催への助成を行うとともに、MICE関連のイベントにおいて情報発信を行うことにより、MICE開催の増加を図る。 ①MICE誘致のための取組み R7年度当初予算 大阪観光局運営事業（予算：524,224千円）の一部] 万博に関連したMICE等の誘致に向け、国内外へのプロモーションや情報発信を実施。 ②万博と連動した国際会議誘致・開催支援事業 R7年度当初予算 23,000千円] 2025年の万博開催地である大阪・関西への注目が集まるタイミングをとらえ、大阪で開催するMICEを積極的に誘致するために、国際会議の誘致・開催において必要となる経費の一部を助成する。 ○助成対象事業 【国際会議Ⅰ】[上限額 500万円] ・会期が2日以上、現地での総参加者数が50名以上であること ・日本を含む3 居住国・地域以上からの参加者があること ・「大阪MICE誘致戦略」に定める重点分野（ライフサイエンス、ものづくり等）や万博のテーマなどに関する国際会議であること 【国際会議Ⅱ】[上限額 1,000万円] ・国際会議Ⅰの各要件を満たすものであること ・国際機関が主催するものであること ・3か国以上をローテーションして開催されるものであること ③情報発信の強化 [R7年度当初予算 1,790千円（市）] 大阪のMICE開催地としての知名度を向上するため、国内外の主催者やMICE関連事業者に対し、MICE関連のイベントへの出展を通じて、ユニークベニューやアフターコンベンションなどに活用可能な施設等のPRを行う。 ④国際会議開催支援事業 [R7年度当初予算 14,000千円][新規] 大阪の新たな成長戦略として、令和8年度から令和14年度にかけて、大阪が強みを有する重点分野の国際会議に対し、誘致・開催に係る経費の一部を助成する。令和7年度は、事業周知のための広報活動などを実施する。

■文化・芸術を通じた都市ブランドの形成

大阪国際文化芸術プロジェクト

府市

R7年度当初予算案 880,000千円

事業概要

大阪・関西万博に向けた文化芸術活動の活性化や文化芸術の魅力発信のため、大阪府市が連携し、各種公演やアート展等の文化芸術プログラムを実施。
万博開催時を中心に実施する大阪国際文化芸術プロジェクトにおいて、R5年度・R6年度の取組みを踏まえたイベントを開催。2025年度 通年で実施予定

大阪文化資源魅力向上事業

府

R7年度当初予算案144,000千円

事業概要

文化を核として大阪の都市魅力を創造し、広く国内外に発信していく事業として、府内各地の神社仏閣等の日本遺産・文化財等を舞台に、大阪が誇る多彩で豊かな文化芸術プログラムを実施し、地域の魅力を向上するとともに、多くの観光客を呼び込むことを目指す。
・2025年度 通年で実施予定

現代美術振興事業

府

事業概要

①大阪府所蔵美術作品活用活性化事業

【R7年度当初予算案 127,008千円】【拡充】
所蔵美術作品を府内各地に展示し、府民に身近な場所での鑑賞機会の提供を図るとともに、観光資源としての活用を図ることで、大阪府を訪れる観光客の増加につなげていく。
また、大阪・関西万博の会場内で実施する「コレクション展」の開催や府内各地の美術作品の展示場所を周遊する鑑賞促進イベントの実施に取り組む。

②大阪府20世紀美術コレクション魅力発信事業

【R7年度当初予算案 19,705千円】
令和5年度に開設した「大阪バーチャル美術館(enoco+)」において、大阪・関西万博の会場内で実施する「コレクション展」の展示作品をバーチャル展示に追加することや「コレクション展」と連携した情報の発信等により、国内外に現代美術や大阪の魅力を発信し、万博への来場促進と大阪への誘客を図る。

③オオサカアートビレッジ事業

【R7年度当初予算案 85,318千円】
大阪・関西万博会場から目視可能な咲洲庁舎の外壁を活用したデジタルアートを展開。大阪におけるアート活動の機運を醸成するとともに、アートによる都市魅力の向上を図り、大阪への誘客につなげる。

芸術文化による大阪の魅力向上

市

事業概要

①大阪クラシック

【R7年度当初予算案 42,350千円】
御堂筋や中之島エリアで無料または低料金のクラシックコンサートを通じて、市民やビジターが気軽に第一級の芸術を楽しむ機会を提供するとともに、大阪ならではの芸術文化イベント開催により都市魅力の向上を図る。
・2025年9月実施予定

②大阪アジア映画祭

【R7年度当初予算案 45,000千円】
優れたアジア映画の鑑賞機会を市民に提供すること及び大阪での映像制作活動の促進を支援すること等を通じて、映像文化の裾野を広げ、芸術文化にあふれる大阪を国内外に発信する。
また、大阪を映像文化の創造拠点として、都市の魅力を高めるとともに、交流と人材育成を図る。
アジア最新作の上映や来日ゲストとの交流、シンポジウム、映画講座等を実施する。
・2025年8～9月 映画祭開催予定

③文楽を中心とした古典芸能振興

【R7年度当初予算案 45,000千円】
大阪の誇る文楽を中心とした上方の古典芸能に触れる機会を市民に提供することで、文楽をはじめとする古典芸能の振興を図ることを目的に、文楽に関する公演や行事を開催するとともに、国立文楽劇場での文楽鑑賞への興味を喚起する情報を発信する業務を実施する。

④大阪市芸術活動振興事業助成

【R7年度当初予算案 116,000千円】
団体・個人が行う芸術文化活動を公募し、アーツカウンシルの審査を経て、これらの事業経費の一部に対して助成を行う。
○募集期間
（特別・一般上期）2024年1月7日～2月4日、
（一般下期）2024年6月～7月予定
○助成対象期間
（特別）2025年4月1日～2026年3月31日、
（一般上期）2025年4月1月～9月30日、
（一般下期）2025年10月1日～2026年3月31日

⑤美術館・博物館の魅力向上

【R7年度当初予算案 2,556,837千円（運営費交付金）】
「都市のコアとしてのミュージアム」の実現に向けて、（地独）大阪市博物館機構に第2期（2024～2028年度）中期目標を示し、運営費交付金を交付。（地独）大阪市博物館機構は、来館者目線に立った徹底したサービスの向上、博物館・美術館を一体的に運営する強みを活かした活動に重点的に取り組む。
○マスメディア等と連携した特別展及び企画展の誘致。
○6館（大阪市立科学館、大阪市立東洋陶磁美術館、大阪歴史博物館、大阪市立自然史博物館、大阪市立美術館、大阪中之島美術館）の一体的な広報

■スポーツツーリズムの推進

スポーツチームと連携した万博機運醸成事業

府市

事業概要

①大阪スポーツプロジェクト推進事業

府内トップスポーツチーム、経済団体等が一体となった大阪スポーツコミッション（OSAKA SPORTS PROJECT）により、スポーツ資源を活用し、スポーツを楽しめる機会を提供するとともに活力あるまちづくりに向けて、コミッション構成チームの試合会場や市町村、企業等が実施するスポーツイベントに参画し、スポーツツーリズムの推進、生涯スポーツの振興及び万博の機運醸成を図る。

・2025年度 通年で実施予定

②舞洲スポーツ振興事業 [R7年度当初予算案 4,000千円]

大阪市と舞洲を拠点に活動するプロスポーツチームが中心となり、情報発信、イベント、人材育成等のスポーツ振興事業を実施し、都市魅力の向上を図る。

・2025年4月から2026年3月まで

スポーツツーリズム推進事業

府

R7年度当初予算案 179,923千円

新規

事業概要

大阪府が事務局を担っている大阪スポーツコミッション（OSAKA SPORTS PROJECT）を中心にトップスポーツの試合と様々な「する」スポーツ、「みる」スポーツを体感できる大規模なスポーツイベントを3日間開催し、大阪への誘客と大阪の経済成長を図る。また、将来スポーツビジネスを志す学生等に、イベントの企画・運営を学びの場として提供することで、人材育成を図る。

・2025年8月 プレイベント予定

・2025年9月～10月 本イベント予定

マラニックイベントによるスポーツツーリズム推進事業

府

R7年度当初予算案 35,412千円

新規

事業概要

2025大阪・関西万博によって高まった大阪への関心を活かし、南河内サイクルラインを大阪が有するスポーツ資源として捉え、フルーツをテーマにしたマラニックイベントを南河内地域で開催する。全国のランニング愛好家とその家族を主なターゲットに、運動に親しみながら、フルーツや自然環境など南河内地域が持つ魅力を体感してもらうことで生涯スポーツの振興や地域周遊の促進を図ることを目的として実施する。

・2025年 11月実施予定

大阪マラソン開催事業

府市

R7年度当初予算案 180,000千円

事業概要

2022年2月27日開催の第10回大会から「びわ湖毎日マラソン」と統合し、それまでの市民マラソンとしての面に加え、トップランナーも参加する競技マラソンとしての機能を併せ持つ大会となった。

今後、さらなる魅力づくりに取り組むとともに、大会の国際化を推進することにより、世界トップレベルの市民マラソンをめざす。

○ 大会名称：大阪マラソン2026（第14回大阪マラソン）

○ 開催日：2026年2月22日（日）（予定）

○ 参加定員：34,000人（予定）

海外ランナーの大会満足度 95%以上を目標

○ コース：府庁前～造幣局～中之島周辺～御堂筋～京セラドーム大阪～大阪ビジネスパーク～大阪城公園

国際スポーツイベントの開催

府市

R7年度当初予算案 300,000千円

新規

事業概要

万博開催にあわせ、世界最高峰のアクションスポーツの競技大会「X GAMES」を開催し、全世界に大阪を発信することで、都市のプレゼンス向上を図る。また、世界的なトップアスリートのパフォーマンスを「みる」機会を創出し、府民のアクションスポーツへの理解を深め、府内でアクションスポーツの活性化やスポーツツーリズムの促進を図る。

・2025年6月 大会開催

■大阪の成長・発展につながる国内外の高度人材の活躍推進

高校生等海外進学支援事業（おおさかグローバル塾）府

R7年度当初予算案 42,483千円

事業概要

海外の大学で学位取得をめざす高校生を対象に、英語力やコミュニケーション力等の強化を図るとともに、海外の大学への進路指導を行うなど、総合的な支援（通称：おおさかグローバル塾）を実施し、世界で活躍できるトップレベルのグローバル人材を育成する。

海外進学で必要となるディスカッション力やディベート力といったアカデミックスキルの向上に特化したイベント等を追加し、受講生がより多くの進学先を選択できるよう英語力やコミュニケーション力を向上させることで、さらに海外進学を支援する。万博をテーマにしたプレゼン発表、来場を促すためのプロモーションなど機運醸成に向けた取組みを実施する。

- ・ 2025年 5月 プログラム開始
- ・ 2025年7月26日～8月3日 短期留学
- ・ 2026年2月 プログラム終了

外国人留学生就職等支援府

R7年度当初予算案 2,177千円

事業概要

大阪府内での就職をめざしている外国人留学生を対象に、就職に関するセミナー等を実施することで、大阪企業への就職を支援し、外国人留学生の大阪への定着を図る。

- ・ 2025年4月～2026年 3月 事業実施

高校生等海外体験支援事業府

R7年度当初予算案 4,973千円

新規

事業概要

万博による国際交流の機会を活用し、海外留学での交流を通して、若者の視野を広げ、国際感覚や自立心・向上心を磨くとともに、大阪の魅力をSNS等により、英語やその他の言語で世界に発信できる積極性を培う（1クール2か年事業）。

- ・ 2025年度 6月ごろ 事業者公募、6月下旬～9月末 生徒募集、
10月～11月初旬 審査・選考、11月中旬～翌3月末 研修
- ・ 2026年度 研修、海外留学、報告会等実施予定

実践的英語体験活動推進事業（グローバル体験プログラム）府

R7年度当初予算案 7,877千円

事業概要

府内の高校生等を対象に、外国人スタッフとの実践的な英語体験活動を実施することで、参加する生徒が、海外への興味・関心を高め、英語でコミュニケーションをとることの楽しさを実感するとともに、外国人に自分の考えを伝えたり、大阪の魅力を紹介するなど、自然に英語で交流を図ることができるコミュニケーション感覚や能力を育成する。

- ・ 2025年 4月～2026年3月 事業実施

万博国際交流事業府

R7年度当初予算案 40,759千円

事業概要

大阪府友好交流先9地域より行政関係者や教員、専門家等を招聘し、府内高校生等を対象に各国の社会課題について学び、考えるセミナーを開催するほか、招聘者を万博会場内ヘルスケアパビリオンや大阪府内の観光資源等に案内するなど、万博のレガシーとして、相互の交流と理解を深める。

- ・ 2025年5月 事業開始、参加者募集開始、8月 セミナー実施

英語イノベーション事業市

R7年度当初予算案 726,748千円

事業概要

英語教育の強化を図ることにより、児童生徒が自分の考えや意見を英語で伝えることができるコミュニケーション能力を育み、グローバル社会において活躍し貢献できる人材を育成する。

- ネイティブスピーカーを小学校、中学校の全校に配置
- 「小学校低学年からの英語教育」を全小学校で実施
- 小中学生が集中的に英語を使う機会を提供
- 中学生の英語力を的確に把握し、指導改善を図るための英語力調査の実施
- 教員の指導力・英語力の向上を図る研修の実施
- ・ 2025年 4月 全小中学校にネイティブスピーカーを配置、
全小学校で小学校低学年からの英語教育を実施
- ・ 2025年 8月 英語体験イベントを実施
- ・ 2025年10月 大阪市英語力調査（4技能）実施
- ・ 2025年5月～2026年2月 教員の指導力及び英語力向上に向けた研修の実施